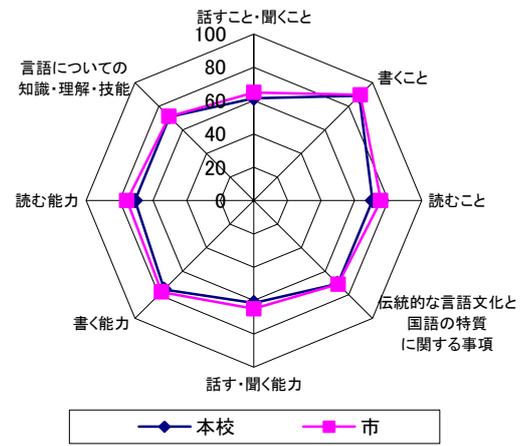


# 宇都宮市立宝木小学校 第6学年【国語】領域別／観点別正答率

## ★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	話すこと・聞くこと	61.4	64.9	69.8
	書くこと	89.0	89.8	81.9
	読むこと	70.8	75.6	75.1
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	70.7	71.0	75.0
観点別	話す・聞く能力	61.4	64.9	69.8
	書く能力	75.5	77.7	73.7
	読む能力	70.8	75.6	75.1
	言語についての知識・理解・技能	71.1	71.4	74.9

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



## ★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
話すこと・聞くこと	●話し合いを聞いて、司会者の工夫について答える問題の正答率は80.2%で、市よりも4.3ポイント低い。	・話し合いの際、司会がどのような役割をするのかという知識を定着させるために、授業の中で話し合う場面ではその都度司会を設け、役割を確認していく。
書くこと	○条件通り、2段落構成で文章を書くことができるかでは、82.9%で市よりも1ポイント高い。 ●2つのポスターのうち、どちらが効果があると思うかを明確に書いているかでは、明確に書いている児童が92.8%で、市よりも2.7ポイント低い。	・条件に合った書き方をすることができるようにしていくために、日ごろから「聞かれたことに対して答える」ということを徹底して指導していくことで児童に意識させていく。
読むこと	○文と文の相互関係に注意して、登場人物の心情を読み取ることができるかを問う問題の正答率は78.4%で、市よりも0.5ポイント高い。 ●目的や必要に応じて、文章の内容を明確に読み取ることができるかを問う問題の正答率は68.5%で、市よりも7.3ポイント低い。	・特に説明文を読む際には、どの部分に要点が書かれていることが多いかなどを意識して文章を読むことができるように指導していく。
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	○敬語(尊敬語)の使い方を理解しているかを問う問題の正答率は58.6%で、市よりも10.2ポイント高い。 ●漢字の読みを答える問題では特に「境(さかい)」の正答率が69.4%で、市よりも11.5ポイント低い。	・授業冒頭に漢字を学習する時間を取ったり、家庭学習における漢字の学習を充実させたりすることで、基礎基本である漢字の習得ができるように指導していく。